

大人の言葉が、子どものい言葉育てます。あなたの五感で感じたもの、ことを、言

4 想像力・表現力 目指せラジオのアナウンサー！

その繰り返しは美は学び。子どもは、また大人の動作をまねする。大人は、子どもの動作、声をたまたま真似す

3 見て・真似る 子どもは大人を、大人は子どもを

子どもをよく観察し、次の行動を予想してみよう。なかなか相手は手強い（笑）

2 かかわり・観察 相手を知って、作戦を立てる

5 認める

ほめる結果

大人の側の基準で一定の水準に達した、水準を超えた評価する

●認める 課程・プロセス

子どもなりのこだわりで、努力したり工夫したプロセスを認める。

認めるコツ

子どもをよく観察し、前と変わったところを、言葉にしよう！

「何回もやっただから、昨日よりも、上手にできた。」



ほかの子どもへの声かけは、認めるワードを自然と使っている人が多い

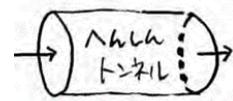
1 生活 くう、ねる、遊ぶ、ととのえる 我が家の生活のリズム、土台を作る

例) 7時起床 → 窓をあける → おはよう！ → お茶を飲む → 朝食 → 絵本

“おなじリズムは、 安定を生み出す”

イヤイヤやる？ 楽しむ？
決めるのは、自分

家事
育児
勉強



笑い
遊び

どうしたら、楽しくできるか考えよう！

あなたは、
どんな子育てがしたいですか？
どんな子に育ててほしいですか？

自分の「大切にしたいこと」が、「○○すべき」「他の人が○○してるから」に邪魔をされ、隠れてしまうことがあります。ひき算して、スッキリ、シンプルにしてみましよう。見えなかったあなたの「軸」が見えてきます。

そして、その軸を家族、祖父母、友人に伝えると、あなたの応援団も増えますよ。

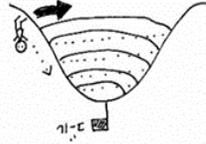


認めていると子どもづく力

●成長マインド

子どもの気持ち、行動を認め、“やれば変わる、できる”をたくさん体験すると、ここからは、“カッコいい！”に変わり、自ら学び続ける力がつく。

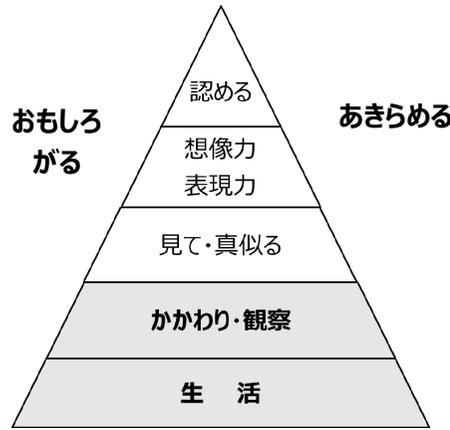
人の成長は、らせん階段のように成長。裏側見えないときにこそ、認め、信じる。



なんとなくに注意！

なんとなくできて、褒められるが嬉しく、「コソコソやる」ことは、かっこ悪い、できないことをごまかすにつながるので注意！

ひき算の子育て7つのヒント



大切にしたいこと。
ぼうだ あきこ



私の大切にしたいこと。

- 1.
 - 2.
 - 3.
- 30年後に、どうなっていたらハッピーですか？



あきらめる 残念だったね！

どうにもならないとわかると、気持ちのコントロールができるように。笑い飛ばすかも！



他育てのすめ

ほかの子どもを認める、助ける ← 自分の子どもに戻ってくる

いい言葉かけが多い

我が子だけでなく、他の子がいた方がやさしい言葉かけが多い
我が子の名前を呼んでくれる人、成長を見守ってくれる人を見つけておこう！

たし算しよう！ 仲間、応援団

「ひき算の子育て ワーク」

大切にしたいこと。
ぼうだ あきこ

あなたの大切にしたいこと、何ですか？ パートナー、家族に伝えてますか？
伝えるためには、自分の「大切にしたいこと。」を知ることが大切。

書いてみよう自分の「大切にしたいこと。」。自分で書ける人は、下の枠にどんどん書こう。
ペンが止まってしまう人は、まず、ぼうだが書いたもので自分もと思うものに○をつけよう

あなたの大切にしたいことは何ですか？

- ①左側に書き出す ②とくにコレ！というもの3つを選ぶ。
- ③選んだ3つを具体的行動に分解する

例) 健康な子どもに

朝ご飯を食べる → あったかい汁ものを毎日作る

ぼうだの大切なこと。 いっぱい書いて、下の4つに絞りました。

- ・ 朝ご飯を家族で食べる
- ・ 朝ご飯にはあたたかい汁物
- ・ あいさつ
- ・ ありがとう、ごめんなさいを言う
- ・ 家族が出かけるときは、必ず
- ・ 「行ってらっしゃい」を言い見送る
- ・ 子どもたちの夢を応援し続ける
- ・ あきらめる
- ・ 学問は生活の中から生まれる
- ・ 家族のリズムを朝でつくる (睡眠)
- ・ 生活の場の環境をととのえる
- ・ 子どもがやりたいことができる環境を
ととのえる
- ・ からだ、こころをととのえる
- ・ くっつく
- ・ 手をつないで歩く
- ・ 笑う おやじギャグ最高
- ・ 歌を歌う
- ・ 本を読む
- ・ 人の話を聞く
- ・ 書く
- ・ やりたいと思ったことはやってみる

「食う、寝る、笑う、ととのえる」